



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

Vol.035

No.2467

2013-2014年度国際ロータリーのテーマ



2013-14年度RI会長 ロン D. バートン

2013-2014年度士別ロータリーのテーマ
「出来ることを 出来るときに 出来ることから」

士別市／世界のめん羊館



例会場／士別グランドホテル

例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234

会長／千葉 繁 夫

副会長／阿 達 勇

幹事／奈良 康 弘

第 2548 回例会 2014年4月28日 (月)

本日のプログラム：夜間例会

● 前回 (4月21日、月曜日) の記録：普通例会、ゲスト卓話

司 会／若森 孝 副会場監督

斉 唱／奉仕の理想

本日の出席／会員 48 名中 出席者 28 名 出席率 58.33%

本日の欠席／阿達 勇、穴田俊昭、今井 裕、織戸俊二、黒田康敬、近藤峯世、片庭隆暁、
汐川泰晴、鈴木 勉、佐藤和彦、田中道也、谷 温恵、近井孝義、細川博司、
藤吉敏博、松塚信雄、本山忠之、二井内亮太、山口哲雄、大野裕一郎

ゲ ス ト／崎原元貴さん (ファームあるむ)

メイクアップ／本山忠之、宮崎隆雄、大野裕一郎、坂口芳一 (4月19・20日「PETS・地区協議会」)
泉谷勇、伊藤優市、今井裕、尾崎学、國森和麿、佐藤元保、佐藤元信、谷温恵、
細川博司、穴田俊昭 (4月20日「PETS・地区協議会」)

ニコニコBOX／松塚信雄 (4月誕生祝)

累計 247,000 円

● 例会予定

4 月例会日 (ロータリー雑誌月間)

- 4月 7日 (月) 普通例会・理事会
- 4月14日 (月) 普通例会
- 4月21日 (月) 普通例会
- 4月28日 (月) 夜間例会

5 月例会日

- 5月 5日 (月) 休会 (法定休日：こどもの日)
- 5月12日 (月) 普通例会・理事会
- 5月19日 (月) 普通例会
- 5月26日 (月) 夜間例会

■会務報告 千葉繁夫 会長

●日本人は世界で2番目に多く卵を食べているようで、年間平均1人324個です。ほとんど毎日食べている計算になります。卵は和洋食併せて色々な料理に使える食材です。

●19日、20日に2014～2015年度のためのPETS・地区協議会が帯広で開催されました。次年度宮崎会長はじめ出席されました役員の皆様ご苦労様でした。宮崎会長エレクト、坂口次期幹事にはますます忙しくなるとは思います。体調を崩さぬよう頑張ってください。

●4月20日から30日までの春の全道火災予防運動週間が始まりました。空気が乾燥し火災が発生しやすい時季です。4月に入り毎日、乾燥注意報が発令されております。士別市の消防署によりますと、年間15件前後の火災が起きており、人口1万人当たりの平均発生件数は4件からすると、大変多いそうです。職場や家庭での予防対策と点検を致しましょう。

●林野の火災予防にも出席して参りました。今日から5月31日まで予防強調月間で入林者に注意を呼びかけています。焚き火やタバコは当然ですが、たまたま朝日で4月の最初に旧糸井小学校の付近でヒグマが出てきたとの情報がありました。山菜採りなどで山に入られる方は十分に注意して頂きたいと思えます。

■幹事報告 奈良康弘 幹事

①下川RC様より3月度クラブ会報が届いております。回覧いたします。御一読下さい。

②4月15日に開催されました士別市交通安全運動推進委員会総会出席してまいりました。交通災害防止・抑止の為、デイ・ライトの実践こまめにハイビーム推進運動等協力下さいとの内容が御座いました。

③士別市子供会育成連絡協議会、会長川副春夫様名にて、5月25日に開催されます「第18回しべつわんぱくフェスティバル」につきましての後援のお願い及び出席依頼の案内が来ております。

④帯広東RC様より、創立30周年記念式典の詳細日程の案内が届いております。

⑤4月27日に開催されます、美深RC50周年記念式典につきまして、スケジュール表本日配布致しました。出発時間等確認下さい。尚当日欠席及びバスを利用されない会員の方につきましては、出発前までに幹事あて連絡を頂きます様お願い致します。

⑥次週28日は、夜間例会となっております。お間違えの無い様出席下さい。

■次年度報告 坂口芳一 次年度幹事

2014～2015年度のPETS・地区協議会が19

日・20日の2日間に亘り帯広市で開催されました。当クラブからは本山忠之ガバナー補佐とともに14名で参加をして参りました。出席頂きました次年度役員・委員長の皆様には早朝出発の長時間移動にも係わらず大変お疲れ様でした。

■ゲスト卓話・ゲスト紹介

◆プログラム委員会 北村浩史 委員長

講師に鶏卵を生産している「ファームあるむ」の崎原元貴さんをお迎えしました。活動内容はテーブルのお手元に配付しましたチラシをご参考にしてください。崎原さんは兵庫県尼崎市に生まれ、大阪でお育ちになった都会の青年です。現在31歳です。オホーツクの雄武町で酪農ヘルパーとして3年の経験を積み、上士別の五十嵐広司さん宅で農業研修を2年勤め、新規就業者として現在のお仕事を始めました。上士別に住んで今年で5年目になります。奥様の敬子さんとの間に、昨年12月に男の子が生まれました。講話の後、昼食は「ファームあるむ」産の卵による「たまごかけご飯」を実践致します。ご賞味いただき、新規就農に取り組む崎原さんのこれからの活躍も期待していきたく思います。また、「ファームあるむ」産のスマークチキンと卵(10個入り)も用意しているとのことですので、ご希望の方は卓話終了後購入できますので、崎原さんにお申込ください。尚、例会の昼食用に卵2個を用意致しましたので、余りましたら割らないように慎重にお持ち帰りください。

●卓話『ファームあるむ』崎原元貴さん

●私は上士別の大和地区で「ファームあるむ」をやっております崎原元貴と申します。よろしく願い致します。家族は妻と子供3人家族です。平飼い養鶏と畑作の循環型の農業をしております。ネラという黒いオランダ原産の鶏を約270羽飼っています。平飼い養鶏というのはゲージに鶏を入れるのではなく、小屋の中で放し飼いにし、自由にのびのびと飼ってあげる飼育方法です。お手元に私の妻が書いた資料を配付致しております。これは平飼い養鶏の事やエサは何を食べているかを書いてありますので見てください。私の農場では特にエサにこだわっています。一般的な養鶏業ではエサの90%以上を外国産にたよっています。私の農場では国産100%のエサで鶏を飼っております。食塩以外は全て北海道産で、米や麦・大豆など士別近郊から出る規格外の農産物を使用しております。また、自分達でも鶏ふんでじゃがいもやかぼちゃ、牧草などを生産し年間通じて鶏に食べさせ、しっかりと栄養をつけさせています。そうして出来た新鮮な卵を士別市街の方々に宅配して直

売しております。宅急便を使い、日本全国に地方発送も行っています。現在は約90世帯の定期購入のお客様がいます。

●農業を始めたきっかけ～なぜ農業を始めたかと云いますと、私は高校生の時からロッククライミングの趣味を始めました。フリークライミングというワールドカップのあるヨーロッパではメジャーなスポーツであり、日本人のチャンピオン



もいます。その方に憧れて高校卒業後プロクライマーを目指し高所のビルの窓ガラスの清掃の仕事しながらロッククライミングの練習にはげむ毎日でした。才能が無い事に気づき25才の時にカナダに夢をあきらめるために最後の武者修行に出かけました。そこで農業について考えさせられる出来事がありました。カナダのバンクーバーの近くでペンションを経営されている日本人のおじさんに日本は食料を輸入にたよりにすぎている。もし日本の経済力が弱くなり中国やインドなどでの国に食料の買い負けをした時、日本に食べ物がちゃんとある保証なんてど

こにも無いんだぞと教えられ、農業について考えさせられました。自分に子供が出来た時にも、安全で安心な食べ物をしっかり食べさせたいとも思い、農家になる決意をカナダで固めました。帰国後の平成18年にすぐにオホーツクの興部町に移住し酪農家の従業員になりしばらくして妻に来てもらい6月に興部町で結婚しました。1年半の勤務の後となり町の雄武町でJAの酪農ヘルパーになりました。酪農ヘルパーをしながら鶏を3羽庭先で飼い始め、子供からお年寄りまで、新鮮なたまごを食べたそうに集まって来るのを見て、たまごや鶏を通じて楽しそうにコミュニケーションをとっている様子を見て、鶏農家になる決心をしました。



平成22年の4月に知り合いの農家さんを頼っ

て上士別に移住してきました。士別を選んだ理由は、士別市は稲作や畑作が盛んで鶏の餌が豊富であると思ったからです。自分達の目指す、循環型の農業にピッタリだと思いました。農家になるには2年間の農家研修が必要



で、2年間の農家研修をスタートさせました。直ぐに鶏のヒナを育てはじめ、その年の12月から卵を士別市街に配達をできるようになりました。卵の配達を始めてから3年が経ち、ようやくお客様とのコミュニケーションがスムーズにできるようになってきました。

●苦勞していることは～鶏を飼っていて大変だと思うことは、エサを自分で配合しているため、季節や気温の変化に合わせて小麦の量を変えたり、魚の粉の量を変えたり日々、微調整が必要です。鶏は体の小さな動物なので少しのことで体のバランスが狂い日々の微調整が難しく産卵率や卵の味が変わりやすく、一定の量や品質を維持するのが難しく神経を使います。

●これからの将来の目標は～今の日本の農業は外国から輸入した肥料や飼料で成り立っているという現実があります。逆にいえば純粋な国産のものが希少になっている時代だと思います。士別は農業が盛んな場所なので、だからこそ生み出せる卵だと思います。これから自分達は一人前の農家になれるよう努力し、卵を通じて士別を盛り上げていく一員になればと思います。

